

日本気管食道科学会より

『両側声帯運動障害に関する全国調査』について

➤ 研究(調査)の目的と概略

両側声帯運動障害は神経麻痺や関節運動障害により生じ、呼吸困難や声のかすれ、食事中的むせなどが生じますが、診断が難しく、治療法も確立していません。この研究は、両側声帯運動障害に関する全国調査を行い、その実態を把握することを目的としています。

➤ 研究(調査)の方法

この調査へ参加する医療機関から個人情報が入り込まないようとした症例調査票を提供していただきます。症例調査票には、両側声帯運動障害の患者さんの年齢、性別、病気の程度、治療方法、経過についての情報が記載されます。症例調査票を集計し、国立国際医療研究センター病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科において解析します。

➤ 研究(調査)の参加施設

この調査は国立国際医療研究センター病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科が主となって行います。日本気管食道科学会の認定研修施設をはじめ、耳鼻咽喉科専門医を養成するための施設に、この調査への参加の意向を確認します。

➤ 調査期間

2022年11月1日～2024年3月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

2023年1月1日から2024年12月31日までに両側声帯運動障害にて初めて診察を受けた方、もしくはこれまでも通院していてこの期間に診察を受けた方を対象としています。両側声帯運動障害は稀な病気です。今回の全国レベルでの調査では一人でも多くの方に参加していただきたいと考えています。

➤ この調査への協力は任意です。

この研究に情報が用いられることを調査の対象となる患者さんご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに情報の利用はしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でもご本人又は代理の方に不利益は生じません。なお、研究成果がすでに発表されている場合、データを取消すことが困難な場合もあります。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者: 二藤隆春(国立国際医療研究センター病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp